

平成15年3月期

中間決算短信(連結)

平成14年11月22日

上場会社名

株式会社 オーナミ

上場取引所

大

コード番号

9317

本社所在都道府県

大阪府

問合せ先

責任者役職名 常務取締役総務部長

氏名 大西庄一

TEL (06)6445-0073

米国会計基準採用の有無

無

1. 14年9月中間期の連結業績(平成14年4月1日~平成14年9月30日)

(1) 連結経営成績

(単位百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
14年9月中間期	3,975	(1.7)	155	(105.3)	125	(163.0)
13年9月中間期	3,907	(3.5)	75	(75.8)	47	(227.4)
14年3月期	8,052	(2.9)	208	(6.3)	159	(22.1)

	中間(当期)純利益		1株当たり 中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当 たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
14年9月中間期	36	(182.0)	3	48	-	-
13年9月中間期	12	(-)	1	23	-	-
14年3月期	48	(-)	4	60	-	-

(注) 持分法投資損益 14年9月中間期 -百万円 13年9月中間期 -百万円 14年3月期 -百万円
 期中平均株式数(連結) 14年9月中間期 10,495,684株 13年9月中間期 10,499,550株 14年3月期 10,498,995株
 会計処理の方法の変更 無

売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
14年9月中間期	8,583	3,587	41.8	341	89
13年9月中間期	8,458	3,574	42.3	340	48
14年3月期	8,642	3,598	41.6	342	81

(注) 期末発行済株式数(連結) 14年9月中間期 10,494,416株 13年9月中間期 10,499,550株 14年3月期 10,496,775株

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
14年9月中間期	119	31	21	965
13年9月中間期	81	23	127	817
14年3月期	256	11	209	899

(4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 1社 持分法適用非連結子会社数 -社 持分法適用関連会社数 -社

(5) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) -社 (除外) -社 持分法(新規) -社 (除外) -社

2. 15年3月期の連結業績予想(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	7,670	205	70

(参考)(1) 1株当たり予想当期純利益(通期) 6円 67銭

(2) 上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従って、実際の業績は、さまざまな要素により、これらの業績予想とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。上記の業績予想に関する事項につきましては、4ページをご参照ください。

1. 企業集団の状況

当社の企業集団は、その他の関係会社である日立造船(株)、当社、子会社1社及び関連会社2社で構成され、日立造船(株)は船舶、鉄構、プラント、環境装置、機械及び原動機の製造業を主な事業とし、当社、子会社1社及び関連会社1社は、倉庫業、港湾荷役業、陸上輸送業及び海上輸送業を主な事業としております。

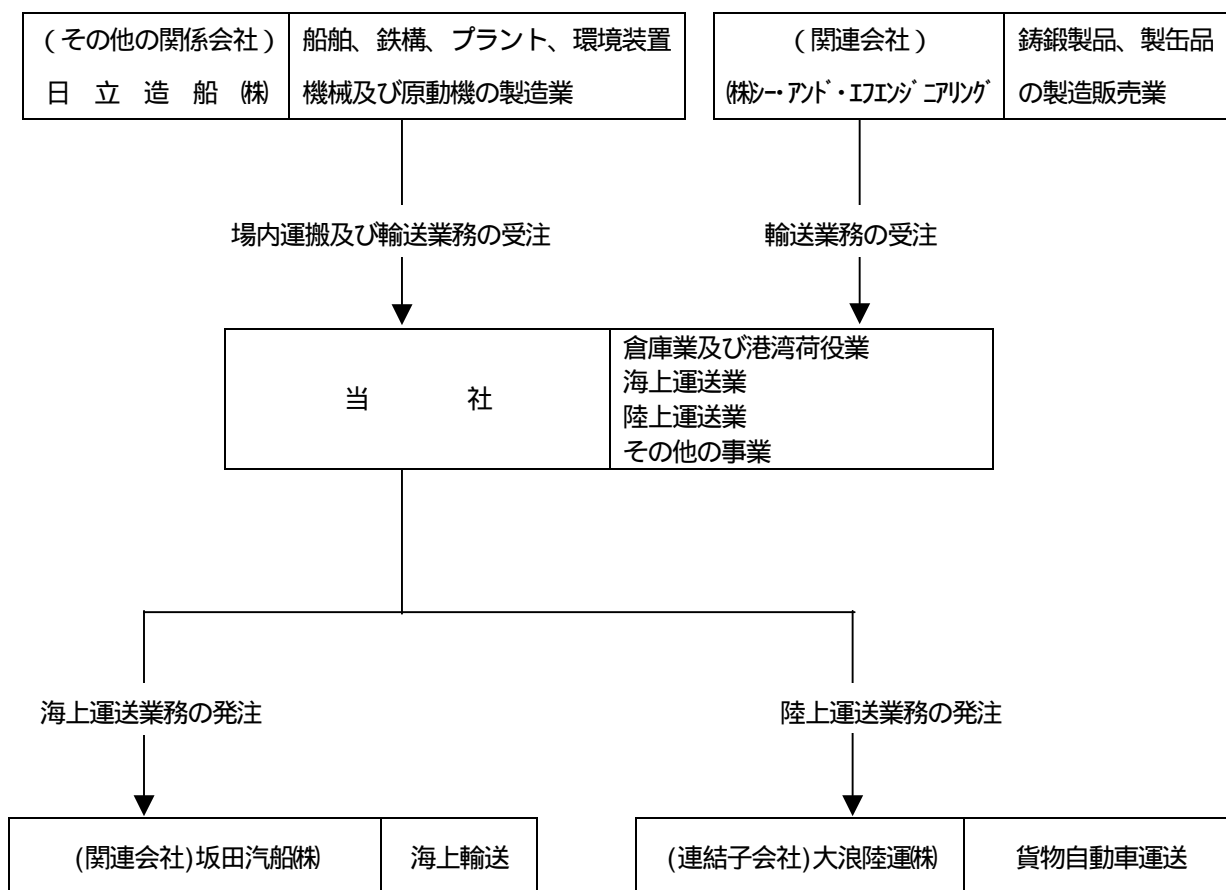
また関連会社1社は、鑄鍛製品、製缶品の製造販売を主な事業としております。

当社グループの事業に係わる位置づけは次のとおりであります。

倉庫業、港湾荷役業	-----	当社が行っております。
陸上輸送業	-----	当社が行うほか、大浪陸運(株)が当社と協力して行っております。
海上輸送業	-----	当社が行うほか、坂田汽船(株)が当社と協力して行っております。
鑄鍛製品、製缶品の製造販売業	-----	(株)シー・アンド・エフエンジニアリングが行っております。

また、当社は日立造船(株)から、同社工場内の場内運搬作業及び資材、製品等の輸送を継続的に引受けております。

以上の関係を事業系統図で示すと次のとおりであります。



2. 経営の基本方針

(1) 当社グループは、物流業務を中心に顧客に満足いただけるサービスを提供し、社会に貢献することを基本理念としております。この基本理念のもと、当社は活発な事業活動を展開し、企業価値の向上に努めてまいります。

利益配分の方針につきましては、経営体質の強化を図るため内部留保の充実に努めるとともに、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本としております。内部留保金につきましては、主として新規事業のための設備投資並びに業務効率化のための機器・車輛等の更新に活用し、企業の長期的な発展を図ることにより株主各位のご期待に沿うよう努めてまいります。

(2) 当社は、利益重視の確固たる経営基盤と変化に対応しえる柔軟な経営体質を築くため、「日立造船グループの物流一元化の拡充」「輸出入通関業務の拡大」「安全最優先による顧客からの信頼の向上」に重点を置いて経営を進めてまいります。

3. 経営成績及び財政状態

(1) 経営成績

当中間期の概況

当上半期におけるわが国経済は、輸出に牽引され一部に持ち直しの動きがありましたが、株式市況の低迷、設備投資の減少、雇用環境への不安から個人消費は依然として回復せず、景気は低調のうちに推移いたしました。

この間、当社を取りまく経営環境は、主要取扱い品目である鉄鋼素材の国内総生産量は増加したものの、国内での荷動き低迷の影響とコスト低減の要請等により厳しい状況が続きました。

このような情勢のもと、当社は日立造船グループの物流一元化の拡充、取扱い品目の多様化、サービス体制のきめこまやかな対応と新規顧客の開拓など、積極的な受注活動を展開してまいりました結果、当上半期の営業収入は39億75百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

一方、利益面におきましては、営業収入が増加したことや一層のコストダウンの推進により、経常利益は1億25百万円（前年同期比163.0%増）となりました。

しかし、中間純利益につきましては、有価証券の評価損39百万円を特別損失に計上したため36百万円にとどまりました。

営業収入の概況を業種別に見てみますと

倉庫業、港湾荷役業は、本年8月より新規にステンレス線材の荷役保管作業を受注いたしました。大手鉄鋼メーカーの在庫量の減少や荷役作業量の減少により、その収入は17億36百万円（前年同期比4.8%減）

陸運業は、公共投資の抑制により橋梁・水門等の輸送が低迷したものの、関西電力株舞鶴火力発電所向け鉄骨、日産自動車株村山工場の大型プレス機、長崎県福江市向け清掃工場他の各種環境機器部材の輸送を着実に受注し、その収入は13億22百万円（前年同期比13.0%増）

海運業は、通関業関係の海外向けプレス機、造水装置等の輸送を受注したものの、造船所向け鋼材・ブロック輸送の低迷、長距離輸送の減少等により、その収入は5億80百万円（前年同期比1.9%減）

その他につきましては、梱包収入、自動車整備収入、配送センターの賃貸収入等を含めまして、3億36百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

以上のような状況でございますが、今後の経営状況を勘案いたしまして中間配当の実施を見送らせていただくことといたしました。誠に遺憾ながら、なにとぞ事情ご賢察のうえ、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

通期の見通し

今後の見通しにつきましては、株価の低迷や膨大な不良債権処理など金融システムへの不安もあって、企業をとりまく経営環境は、なお厳しさが続くものと予想されます。

当社といたしましては、このような情勢に対処するため、10月から中国地区に物流子会社の事業所を新たに開設し、物流拠点の拡大を図るとともに積極的な受注活動を実施し、また業務効率化に一層の努力を重ね、全社一丸となって業績の向上と経営基盤の確立に最善の努力をいたす所存でございます。

通期の業績見通しといたしましては、売上高76億70百万円、経常利益2億5百万円、当期純利益70百万円を見込んでおります。

（2）財政状態

当中間期の財政状態につきましては、連結総資産は85億83百万円となり、前期末に比べ59百万円と若干減少となりました。負債の部の合計は前期末に比べ48百万円減少の49億95百万円となりました。また当中間期の株主資本も前期末に比べ、「利益剰余金」は減少したものの「その他有価証券評価差額金」が増加したことにより10百万円減少の35億87百万円となりました。

当中間期の連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローの増加、投資活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少により全体で65百万円の増加となり、現金及び現金同等物の期末残高は9億65百万円となり前年同期に比べ1億48百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益や減価償却による資金の留保及び売上債権の回収等による収入増と仕入債務等の支出増により1億19百万円の増加となり、前年同期（81百万円増加）に比べ38百万円の増加となりました。

これは、主に税金等調整前中間純利益が前年同期に比べ46百万円増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間期の投資活動によるキャッシュ・フローは固定資産の取得により31百万円の減少となり、前年同期

（23百万円増）に比べ55百万円の減少となりました。これは前年同期には定期預金の払出による収入等が1億10百万円ありましたが固定資産取得のため87百万円支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間期の財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により21百万円の減少となり、前年同期（1億27百万円の減少）に比べ1億5百万円の増加となりました。

これは、前年同期には社債償還のため1億円支出したことによるものであります。

中間連結貸借対照表

(単位百万円未満切り捨て)

期 別 項 目	当中間連結会計期間末 (平成14年9月30日現在)		前中間連結会計期間末 (平成13年9月30日現在)		前連結会計年度 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	[2,764]	[32.2]	[2,517]	[29.7]	[2,850]	[33.0]
現金及び預金	1,103		955		1,037	
受取手形及び営業未収金	1,513		1,417		1,647	
有価証券	-		1		-	
繰延税金資産	76		54		77	
その他	78		93		95	
貸倒引当金	7		5		7	
固定資産	[5,816]	[67.8]	[5,934]	[70.2]	[5,787]	[67.0]
有形固定資産	(5,409)	(63.0)	(5,447)	(64.4)	(5,370)	(62.1)
建物	908		970		938	
構築物	81		96		87	
機械装置	233		200		185	
土地	4,053		4,053		4,053	
その他	132		127		105	
無形固定資産	(48)	(0.6)	(49)	(0.6)	(49)	(0.6)
借地権等	48		49		49	
投資その他の資産	(357)	(4.2)	(437)	(5.2)	(368)	(4.3)
投資有価証券	212		286		220	
その他	158		167		169	
貸倒引当金	14		16		21	
繰延資産	[2]	[0.0]	[7]	[0.1]	[4]	[0.0]
社債発行費	2		7		4	
資産合計	8,583	100.0	8,458	100.0	8,642	100.0

(単位百万円未満切り捨て)

期 別 項 目	当中間連結会計期間末 (平成14年9月30日現在)		前中間連結会計期間末 (平成13年9月30日現在)		前連結会計年度 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%
流動負債	[2,549]	[29.7]	[2,379]	[28.1]	[2,595]	[30.0]
支払手形及び営業未払金	655		525		723	
短期借入金	1,405		1,455		1,374	
未払法人税等	82		41		85	
賞与引当金	195		176		220	
その他	210		180		191	
固定負債	[2,446]	[28.5]	[2,504]	[29.6]	[2,448]	[28.4]
社債	1,380		1,380		1,380	
繰延税金負債	165		203		179	
退職給付引当金	741		768		733	
役員退職慰労引当金	46		38		42	
預り保証金	114		114		114	
負債合計	4,995	58.2	4,883	57.7	5,044	58.4
(資本の部)						
資本金	525	[6.1]	525	[6.2]	525	[6.0]
資本剰余金	112	[1.3]	112	[1.3]	112	[1.3]
利益剰余金	2,952	[34.4]	2,945	[34.9]	2,980	[34.5]
その他有価証券評価差額金	1	[0.0]	7	[0.1]	19	[0.2]
自己株式	0	[0.0]	0	[0.0]	0	[0.0]
資本合計	3,587	41.8	3,574	42.3	3,598	41.6
負債・資本合計	8,583	100.0	8,458	100.0	8,642	100.0

中間連結損益計算書

(単位百万円未満切り捨て)

期 別 項 目	当中間連結会計期間 (自平成14年4月1日 至平成14年9月30日)		前中間連結会計期間 (自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)		前連結会計年度 (自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%		%
営業収入	3,975	100.0	3,907	100.0	8,052	100.0
営業原価	3,127	78.7	3,127	80.1	6,422	79.8
売上総利益	848	21.3	779	19.9	1,629	20.2
販売費及び一般管理費	693	17.4	703	18.0	1,421	17.6
営業利益	155	3.9	75	1.9	208	2.6
営業外収益	(5)	(0.1)	(8)	(0.2)	(23)	(0.3)
受取利息及び配当金	1		1		2	
その他の	4		6		21	
営業外費用	(34)	(0.8)	(36)	(0.9)	(72)	(0.9)
支払利息	25		26		51	
その他の	8		9		20	
經常利益	125	3.2	47	1.2	159	2.0
特別損失	(39)	(1.0)	(8)	(0.2)	(38)	(0.5)
投資有価証券評価損	39		8		36	
投資有価証券売却損	-		-		2	
税金等調整前中間(当期)純利益	86	2.2	39	1.0	120	1.5
法人税、住民税及び事業税	77	2.0	40	1.0	124	1.5
法人税等調整額	27	0.7	14	0.3	51	0.6
中間(当期)純利益	36	0.9	12	0.3	48	0.6

中間連結剰余金計算書

(単位百万円未満切り捨て)

期 別 項 目	当中間連結会計期間 (自平成14年4月1日 至平成14年9月30日)	前中間連結会計期間 (自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)	前連結会計年度 (自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)
連結剰余金期首残高	-	2,992	2,992
連結剰余金減少高			
配当金	-	52	52
役員賞与	-	7	7
計	-	60	60
中間(当期)純利益	-	12	48
連結剰余金中間期末(期末)残高	-	2,945	2,980
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高			
資本準備金期首残高	112	-	-
資本剰余金中間期末残高	112	-	-
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高			
連結剰余金期首残高	2,980	-	-
利益剰余金増加高			
中間純利益	36	-	-
利益剰余金減少高			
1. 配当金	52	-	-
2. 役員賞与	12	-	-
計	65	-	-
利益剰余金中間期末残高	2,952	-	-

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位百万円未満切り捨て)

項 目	期 別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
		〔自平成14年4月1日〕 〔至平成14年9月30日〕	〔自平成13年4月1日〕 〔至平成13年9月30日〕	〔自平成13年4月1日〕 〔至平成14年3月31日〕
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前中間(当期)純利益		86	39	120
減価償却費		80	81	168
賞与引当金の増減		25	0	44
貸倒引当金の増減		7	3	10
退職給付引当金の増減		7	2	37
役員退職慰労引当金の増減		4	7	10
受取利息及び配当金		1	1	2
支払利息		25	26	51
投資有価証券評価損		39	8	36
売上債権の増減		134	155	74
仕入債務の増減		102	103	119
固定資産売却益		2	0	-
投資有価証券売却損		-	-	2
役員賞与の支払額		12	7	7
その他		7	11	7
小 計		225	194	434
利息及び配当金の受取額		1	1	2
利息の支払額		26	28	53
法人税等の支払額		80	87	126
営業活動によるキャッシュ・フロー		119	81	256
投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金払出による収入		-	100	100
投資有価証券の取得による支出		0	0	2
投資有価証券の売却による収入		0	10	29
有形固定資産の取得による支出		31	87	125
有形固定資産の売却による収入		0	1	11
投資活動によるキャッシュ・フロー		31	23	11
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入による収入		510	474	867
短期借入金返済による支出		479	424	898
長期借入金返済による支出		-	25	25
社債の償還による支出		-	100	100
配当金の支払額		52	52	52
財務活動によるキャッシュ・フロー		21	127	209
現金及び現金同等物に係わる換算差額		0	0	0
現金及び現金同等物の増減		65	23	59
現金及び現金同等物の期首残高		899	840	840
現金及び現金同等物の期末残高		965	817	899

平成15年3月期 個別中間財務諸表の概要

平成14年11月22日

上場会社名 株式会社 オーナミ 上場取引所 大
 コード番号 9317 本社所在都道府県 大阪府
 問合せ先 責任者役職名 常務取締役総務部長 氏名 大西 庄一 TEL (06)6445-0073
 決算取締役会開催日 平成14年11月22日 中間配当制度の有無 有
 中間配当実施の有無 無 単元株制度採用の有無 有(1単元 1,000株)

1. 14年9月中間期の業績(平成14年4月1日~平成14年9月30日)

(1) 経営成績 (単位百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
14年9月中間期	3,957	(2.2)	142	(116.5)	118	(169.0)
13年9月中間期	3,870	(2.6)	65	(131.0)	43	(692.9)
14年3月期	8,020	(2.7)	194	(15.8)	153	(34.2)

	中間(当期)純利益		1株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭
14年9月中間期	32	(172.4)	3	9
13年9月中間期	11	(-)	1	14
14年3月期	47	(-)	4	51

(注) 期中平均株式数 14年9月中間期 10,495,684株 13年9月中間期 10,499,550株 14年3月期 10,498,995株
 会計処理の方法の変更 無
 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 配当状況

	1株当たり 中間配当金		1株当たり 年間配当金
	円	銭	
14年9月中間期	0	0	_____
13年9月中間期	0	0	_____
14年3月期	_____	_____	5円00銭

(3) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
14年9月中間期	8,478	3,552	41.9	338 47
13年9月中間期	8,386	3,543	42.2	337 44
14年3月期	8,589	3,566	41.5	339 68

(注) 期末発行済株式数 14年9月中間期 10,494,416株 13年9月中間期 10,499,550株 14年3月期 10,496,775株
 期末自己株式数 14年9月中間期 5,584株 13年9月中間期 450株 14年3月期 3,225株

2. 15年3月期の業績予想(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期	末
通	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
期	7,630	195	65	5 00	5 00

(参考) (1) 1株当たり予想当期純利益(通期) 6円19銭
 (2) 上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従って、実際の業績は、さまざまな要素により、これらの業績予想とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。上記の業績予想に関する事項につきましては、4ページをご参照ください。

中間貸借対照表

(単位百万円未満切り捨て)

項目	当 中 間 期 (平成14年9月30日現在)		前 中 間 期 (平成13年9月30日現在)		前 期 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	[2,707]	[31.9]	[2,481]	[29.6]	[2,814]	[32.8]
現金及び預金	1,067		935		1,015	
受取手形	372		387		564	
営業未収金	1,125		1,020		1,073	
有価証券	-		1		-	
材料及び貯蔵品	3		3		6	
繰延税金資産	72		51		72	
その他の他	72		87		89	
貸倒引当金	7		5		7	
固定資産	[5,768]	[68.1]	[5,897]	[70.3]	[5,770]	[67.2]
有形固定資産	(5,331)	(62.9)	(5,380)	(64.1)	(5,322)	(61.9)
建物	907		968		936	
構築物	81		96		87	
機械装置	233		195		185	
土地	4,053		4,053		4,053	
その他	55		66		59	
無形固定資産	(47)	(0.6)	(48)	(0.6)	(48)	(0.6)
借地権等	47		48		48	
投資その他の資産	(389)	(4.6)	(469)	(5.6)	(400)	(4.7)
子会社株式	38		38		38	
投資有価証券	209		283		217	
その他	154		163		165	
貸倒引当金	14		16		21	
繰延資産	[2]	[0.0]	[7]	[0.1]	[4]	[0.0]
社債発行費	2		7		4	
資産合計	8,478	100.0	8,386	100.0	8,589	100.0

(単位百万円未満切り捨て)

項目	当 中 間 期		前 中 間 期		前 期	
	(平成14年9月30日現在)		(平成13年9月30日現在)		(平成14年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負債の部)		%		%		%
流動負債	[2,497]	[29.5]	[2,355]	[28.1]	[2,590]	[30.2]
支 払 手 形	159		83		90	
営 業 未 払 金	553		505		728	
短 期 借 入 金	1,344		1,414		1,324	
未 払 法 人 税 等	78		38		82	
賞 与 引 当 金	180		161		202	
そ の 他	181		152		163	
固定負債	[2,428]	[28.6]	[2,488]	[29.6]	[2,432]	[28.3]
社 債	1,380		1,380		1,380	
繰 延 税 金 負 債	165		203		179	
退 職 給 付 引 当 金	723		752		716	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	46		38		42	
預 り 保 証 金	114		114		114	
負債合計	4,926	58.1	4,843	57.7	5,022	58.5
(資本の部)						
資本金	[525]	[6.2]	[525]	[6.3]	[525]	[6.1]
資本剰余金	[112]	[1.3]	[112]	[1.3]	[112]	[1.3]
資 本 準 備 金	112		112		112	
利益剰余金	[2,916]	[34.4]	[2,913]	[34.8]	[2,949]	[34.3]
利 益 準 備 金	131		131		131	
任 意 積 立 金	1,824		1,832		1,832	
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	777		785		785	
別 途 積 立 金	1,046		1,046		1,046	
中 間 (当 期) 未 処 分 利 益	960		950		985	
(うち中間(当期)純利益)	(32)	(0.4)	(11)	(0.1)	(47)	(0.6)
その他有価証券評価差額金	[1]	[0.0]	[7]	[0.1]	[19]	[0.2]
自 己 株 式	[0]	[0.0]	[0]	[0.0]	[0]	[0.0]
資本合計	3,552	41.9	3,543	42.3	3,566	41.5
負債・資本合計	8,478	100.0	8,386	100.0	8,589	100.0

中間損益計算書

(単位百万円未満切り捨て)

項目	当 中 間 期 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成14年9月30日〕		前 中 間 期 〔自平成13年4月1日〕 〔至平成13年9月30日〕		前 期 〔自平成13年4月1日〕 〔至平成14年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
営業収入	3,957	100.0	3,870	100.0	8,020	100.0
営業原価	3,177	80.3	3,155	81.5	6,516	81.3
売上総利益	779	19.7	715	18.5	1,503	18.7
販売費及び一般管理費	637	16.1	649	16.8	1,308	16.3
営業利益	142	3.6	65	1.7	194	2.4
営業外収益	(9)	(0.3)	(14)	(0.3)	(30)	(0.4)
受取利息及び配当金	1		1		2	
その他	8		12		28	
営業外費用	(34)	(0.9)	(35)	(0.9)	(71)	(0.9)
支払利息	25		26		51	
その他	8		9		20	
経常利益	118	3.0	43	1.1	153	1.9
特別損失	(39)	(1.0)	(8)	(0.2)	(38)	(0.5)
投資有価証券評価損	39		8		36	
投資有価証券売却損	-		-		2	
税引前中間(当期)純利益	78	2.0	35	0.9	114	1.4
法人税、住民税及び事業税	73	1.9	36	0.9	117	1.4
法人税等調整額	27	0.7	13	0.3	49	0.6
中間(当期)純利益	32	0.8	11	0.3	47	0.6
前期繰越利益	927		938		938	
中間(当期)未処分利益	960		950		985	